

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2023 年 6 月 28 日

下分
都道府県知事
(市長)

殿



提出者

住所 別府市野田906

氏名 有明興社(株) 成水皇寿
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0977-67-7868

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有明興社
事業場の所在地	別府市野田906
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	建設業
②事業の規模	4800万
③従業員数	4人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>解体工事</p> <ul style="list-style-type: none">・かみき類(コンクリート塊)→再生処理業社に委託して再生砕石として再資源化・木くず→再生処理業社に委託して49A(合材用、焼料用)として再資源化・道路建設工事(舗装工事)・かみき類(アスファルト、コンクリート塊)→再生処理業社に委託して再生砕石として再資源化 <p>(日本工業規格 A列4番)</p>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

統括責任者

代表取締役

成水 皇寿

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度 (☒ 年度) 実績】

産業廃棄物の種類

がれき類

木くず

その他

排出量

1812.24 t

552.23

32 t

(これまでに実施した取組)

・再生処分場への搬入

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類

がれき類

木くず

その他

排出量

1812.24 t

552.23 t

32 t

(今後実施する予定の取組)

・再生処分場への搬入

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

・がれき類(コンクリート塊、アスファルト塊) 木くずは分別するとともに
 石綿含有産業廃棄物についても他の廃棄物に混入しないよう
 確実に分別・保管を実施

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

・上記に加え、石綿ボート、金属くず、紙くずについても
 分別を実施

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	がれき類	すくす	その他
	全処理委託量	1812.34 t	552.23	32 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t		t
	再生利用業者への 処理委託量	1812.34 t	552.23	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t		t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t		t
	(これまでに実施した取組)			
	委託基準に従って産業廃棄物と委託できる業者を認定し 書面による契約を実施している			

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	かみきり類	木くず	その他
	全処理委託量	1812.34 t	552.23 t	32 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t		t
	再生利用業者への 処理委託量	1812.34 t	552.23	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t		t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t		t
	(今後実施する予定の取組) ・可能な限り優良認定処理業者から選定する。 ・電子マニフェスト導入を進めるため、電子マニフェスト対応可能な 処理業者から選定する。 ・委託先処理業社には定期的に現地確認を実施する。 ・自社破砕機(クラッシャー)により処理する。			
	※事務処理欄			